

デジタルツインの可能性 デジタルツインはデジタルの双子が注目されています。フィジカルな世界から吸い上げた情報をデジタルで処理し、それをフィジカルに戻すことで価値を生むスキームです。この時、デジタル空間にはセンサー等で収集したデータによって現実世界の写像、すなわちデジタルの双子が生まれます。

す。壊れやすいものを適切に扱えるロボットが量産されれば、介護や医療のようにフィジカルなサービスが重視される領域でも、デジタルツインが広がっていきます。

■新しい探索

人の社会は、デジタルツインのような情報システムの発達に伴い急激に変化してきました。生成AIはその変化を、

ビジネスと演劇

AI時代、共通する思考方法

更に多くの人や企業に広げるとされます。新しいビジネスが生み出される一方で、時間をかけて築き上げてきた優位性が脅かされるかもしれませ

前回に述べました。自分らしさ、とは抽象的な概念です。

びや他者の言葉の使い方・選別の違い等を自覚することは、メタ認知の強化を通じて自己理解を促します。

「正解」ではなく「ビジョン」でメンバーを牽引しなければいけません。柳井正氏や孫正義氏のようにビジョナリーなリーダーの言葉は魅力的です。しかし、すべてのリーダーがそうであるとは言えません。言葉に自信がない、語るべきビジョンがないと悩むリーダーは、「リーダーの役割を「自分」に連結できていません。この時、演劇訓練は転機となり得るでしょう。

AI時代を迎えて、ビジネスと演劇は大きく接近しています。演劇は、複雑な人間社会の写像を舞台に描きだします。私達は、舞台に生まれた双子を通じて、あらためて現実の人間社会への理解を深めることができます。演劇思考を学ぶ事は、論理的思考に依存したビジネスOSをアップデートし、多くのビジネスマ

不確実性の高い問題の解決を論理的アプローチに依存することはリスクです。論理的思考は命題を分類・細分化することで打ち手を発見する構造上、命題が規定した思考フレームの中で解決を図らざるをえず、新しい発見にはむき

るスマートフォンが登場、自動車産業におけるEVの登場とその行き詰まりなどを想起していただけでは分かるように、今日の市場では、競争の前提すら瞬く間に変化します。ビジネスの先を読むには、論理的に認知した世界の外側に手を伸ばすことが必要であり、発想を飛躍させ、大胆な構想を獲得しようという努力が欠かせません。

大きな飛躍には頑強な踏み台が必要です。それが固有性||自分らしさ、であることは

明快な答えのないものをビジネステーマとすることに居心地の悪さを感じる方もいるでしょう。しかし、実際のところ、この世界にすっきりと解きほぐすことのできる問題がどれほどあるでしょうか。少し大胆に申し上げれば、「問題には答えがある」ことを前提とするビジネスのあり方こそ、おかしいのかも知れません。

たいていの場合、役者が演じる役は「他人」であり、台詞は「他人の言葉」です。演劇の訓練は芝居の役割を自分の肉体に同居させる試行錯誤であり、赤の他人を自分の内奥に連結させる営みです。違いを生み出す役者は、同じ台本、同じ演出でありながら、「その人だからこそ」演じられたのだと思わせます。それはカメラの美しさなのです。

た。それはつまり、人間社会の表現です。舞台では、論理で割り切れない未知の事象を巡って複数人での「対話が発生します。対話は会話や雑談と違い、2人以上が理解や交渉のために行います。登場人物たちは変化する日常を理解し、対処するべく、にじり寄りたり、すれ違ったり、反発したりします。ここにビジネスとの共通項を指摘するのは容易でしょう。演劇がそうであるように、ビジネスも相手を必要とします。市場と企業、あるいは組織と従業員の間で頻繁な対話があり、問題の解決が探られます。マーケットであれば、生活者が言語化できない思いを察知し、共感し、新しい価値提案に繋げるドラマを探します。経営者であれば、不確実な時代の変化に目をこらして、周囲の不満や反発に抗ってでも、組織の行く先を情熱と自信をもって構想しようとしていきます。ビジネスもまた、対話によって駆動する、人間社会のドラマです。

生成AIの登場後は、デジタルツインはクリエイティブ領域にも広がりました。広告デザイナーは過去の実績を元にした複数のデザイン案をデジタルに生成し、それをリリースしたときの反響までシミュレーションできます。今後注目されるのはロボットで

生成AIの登場後は、デジタルツインはクリエイティブ領域にも広がりました。広告デザイナーは過去の実績を元にした複数のデザイン案をデジタルに生成し、それをリリースしたときの反響までシミュレーションできます。今後注目されるのはロボットで

不確実性の高い問題の解決を論理的アプローチに依存することはリスクです。論理的思考は命題を分類・細分化することで打ち手を発見する構造上、命題が規定した思考フレームの中で解決を図らざるをえず、新しい発見にはむき

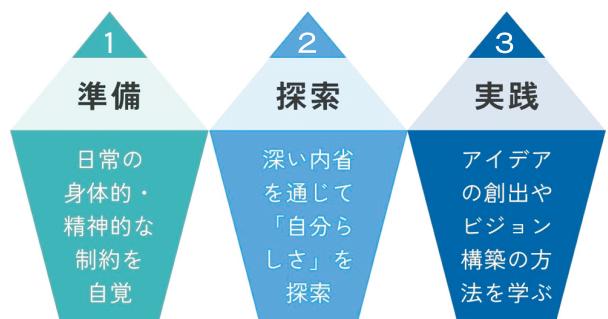
このように身体と言葉、さらに他者との関係性を扱う芸術表現に「演劇」があります。ビジネスにおける演劇はコミュニケーション教育や教養の一部として求められることが多く、ビジネスのコアスキルとして認識されて

「演劇とビジネスの接近」演劇のドラマツルギーは、人の思いや時代の空気がいった確たる実態のない概念を表現するために磨かれてきまし

定)

演劇思考の訓練

記号的に理解しがちな価値観や感情等の概念を体感的に理解し、生活者の理解促進や未知のアイデアへの接近を図る。



このように身体と言葉、さらに他者との関係性を扱う芸術表現に「演劇」があります。ビジネスにおける演劇はコミュニケーション教育や教養の一部として求められることが多く、ビジネスのコアスキルとして認識されて

「演劇とビジネスの接近」演劇のドラマツルギーは、人の思いや時代の空気がいった確たる実態のない概念を表現するために磨かれてきまし

定)